

和光新校準備委員会（第1回）議事録

日 時 令和5年2月7日（火）10:00～11:30

会 場 県立和光国際高等学校大会議室

出席委員 臼倉委員長・鈴木副委員長・柴崎副委員長・渡辺委員・佐藤（真）委員
羽田委員・富岡委員・柴田委員・山口委員・布川委員・重田委員
佐藤（直）委員

協 議 「和光新校基本計画検討（案）」について

○ 主な意見・質問・回答

No.	主な意見・質問・回答
1	<p>新校の基本方針にある「国際に関する学科の中心的役割を担う」とはどのようなことか。</p> <p>（回答） 現在、埼玉県には和光国際高校も含め「外国語科」を設置している学校が多いが、全国的には「国際に関する学科」が多い。 「国際に関する学科」では、和光国際高校の外国語科の学びを更に発展させ、教科横断的に、広い視野を持って自国の伝統や文化についての理解を深めていくグローバル人材を育成したい。 外国語科としての実績がある和光国際高校のノウハウを、岩槻新校、秩父・皆野新校にも波及させていきたいといった期待を込めて「中心的役割」と位置付けている。</p>
2	<p>語学力だけでなく、相手のことを思って豊かな社会を築いていく「共創」という考え方が大事である。そういった観点で考えると、和光高校案の基本姿勢にある「協働による探究的な学び」というのが大事なポイントである。</p>
3	<p>「グローバル人材」とはこういった人材の育成を目指すのか。新たな取組などはあるのか。</p> <p>（回答） 外国語が話せるというだけでなく、社会全体を俯瞰できるような国際に関する教養を備えた人材を育成したい。海外に出るだけでなく、グローバルの感性を持って地域に根付いて活躍できる、そういった人材像を考えている。 具体的な取組については、現在の和光国際高校の取組も踏まえ、両校とも相談しながら検討していく。教育課程の内外で様々な学びを展開できれば良いと考えている。</p>

4	<p>県民コメントでは、両校の校風の違いを心配する声があった。案では「国際」の視点が盛り込まれているが、現在の和光高校の目指す学校像にある「創造する力を伸ばし、協働する元気な集団を育てる」といった要素も基本計画に盛り込まれることが望ましい。</p>
5	<p>地域に根ざした人材の育成という観点から、英語圏以外のアジアなどの国々との関わりも意識していく必要がある。</p>
6	<p>高校3年間は重要な時期である。ただ漠然と卒業するのではなく、将来に向けて目標を持って卒業できると良い。授業だけでなく、特別活動等も重要である。</p>
7	<p>遠隔授業については、リアルタイムで複数の学校が同時接続して意見交換やディスカッションするやり方と、オンデマンド型での活用の両方を検討していくのが良い。</p> <p>様々なところとつながり、生徒一人一人の進路に合わせた必要な学びを実現できるようにしていく必要がある。</p>
8	<p>成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、主権者教育の観点も盛り込んでいってほしい。</p>
9	<p>生徒指導提要の改訂も踏まえ、「人権感覚を育成する」という要素を生徒指導の項目に盛り込んでいただきたい。</p>
10	<p>地域社会の一員であることを生徒に意識させたい。そういった要素を盛り込んでいただきたい。</p>
11	<p>生徒の進路によって、指導方法が変わってくると思う。進学指導なのか就職指導なのか。そういった点をいかにやっていくかだと思う。</p>
12	<p>生徒が中学生と交流する機会等を活用し、生徒自身が学校紹介をするといった取組を取り入れてはどうか。</p>
13	<p>新校が研究開発した教育コンテンツを、小中学生向けに発信してはどうか。探究活動等に活用でき、そこから連携も模索できる。</p> <p>学校説明会を開いて言葉で伝えるというやり方ではない発信の仕方として、仮想空間やオンラインを模索して行くのが良い。</p>
14	<p>これまで両校と和光市が連携して行ってきた、イベントでの高校生ボランティアや和光市の姉妹都市との交流などは新校に引き継ぎ、地域連携を深めていけると良い。</p>
15	<p>海外から和光市に移住してきた方たち、その子供たちに、異文化交流という視点も含めて、生徒が日本語の学習支援をするなどの取組ができると良い。地域貢献にもつながる。</p>
16	<p>和光高校の伝統や良さをどのように新校に取り入れていくのか。</p> <p>(回答)</p> <p>和光高校の最大の魅力は、教員が熱心で、生徒に寄り添ってしっかり面倒を見るところである。また、「学び直し」についても熱心に取り組んでいる。こういった和光高校の良さや魅力を新校に引き継いでいきたい。</p>